

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月9日

評価対象年度：平成19年度				管理	4-2-2-9
事務事業名 遊休農地対策事業				部等名	産業建設部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	農政課
	一般	01-060103003	細々目名	係等名	農政係
政策体系	基本目標	4	活力あるふるさとのまちづくり		
	施策	2	農業・林業の振興		
	基本事業名	2	農業生産体制の整備		

事業概要 実施内容	遊休農地解消のため、抜根整地に要する経費を補助する。 ・補助金の交付 10a当たり40,000円又は事業費の1/3				
根拠法令等	本宮市農林業振興事業補助金交付要綱	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定(年度 ~ 年度)			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金	671,000 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	671,000 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)		遊休農地			
手段(事業の具体的な内容、手順等)		→	活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標		
市内農業団体が遊休農地の抜根・整地を行う事業の補助申請を市で受付、審査し、補助金を交付する。			指標(1) 名称	市内遊休農地面積	
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)		→	成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標		
抜根・整地費用に助成することにより遊休農地解消を図る			指標(1) 名称	補助事業実績 抜根・整地補助面積	
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか					
遊休農地を農作物の生産の場に活用することにより、農業の振興を図る。					

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	年度(最終目標)
指標	活動指標(1)	ha			770	768	
	活動指標(2)						
	成果指標(1)	ha			2	3	
	成果指標(2)						
投入量	事業費	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			671	1,000
	事業費計(A)	千円			671	1,000	
	職員数	人				0.1	0.1
	人件費	千円				8,373	8,373
人件費計(B)	千円				837	837	
総事業費(A+B)	千円				1,508	1,837	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?
農業者の高齢化等により遊休農地は拡大傾向にある。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?
遊休農地を抜根整地して利用する際の経費負担が軽減され、助かるとの声が聞かれる。

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
農地の有効活用を促進し、農産物生産を図っている。	遊休農地は生産基盤としての機能低下をもたらすだけでなく、自然環境保全等の公益的機能とともに地域の活力そのものを低下させることになるため。	遊休農地解消は農業振興に欠かせない。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
遊休桑園・水田は市内でも多く見受けられ、環境面や食糧自給率等でも問題になっている。農地集積と併せて推進することによる向上の余地はある。	遊休農地を放置しておくことは、周囲の農地利用に著しい悪影響を与えることになる。	類似事業は無い
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
農地は国土保全等の面でも多様な役割を果たしており、削減余地はない。	削減余地はない。	補助率以外は受益者負担としている。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	農地集積と併せて農業団体に働きかける必要あり。																					
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
農地保有合理化法人でもあるJAと連携を強化し、所有者が耕地として利用できない場合でも農地集積で推進する。																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						
整地後に作付けする品目も関係機関と検討しながら、推進を図る必要がある。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	抜根整地の目的が1次評価から見えてこない。 遊休農地を解消して農家にどのようなメリットがあるのか、市行政として、農業振興の将来図(農地保全地域の特定、農産物販路確保等)を明確にする必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化により遊休農地は毎年増えている。どの範囲で遊休農地を解消するのか検討が必要。 ・遊休農地解消後の農家収益確保のため、販路を確保する対策も併行して行う。(白沢直売所の拡大、学校給食への安定供給など) 																						